

大会出場時の服装について

京都JTCが主催するテニス大会では、大会に着用して出場できる服装を以下のように規定します。
基本的には「JTAルールブック」のプレーヤー、レフェリーの公式トーナメント競技規則コードオブコンダクト3-(2) 服装と用具のコードを遵守するものとします。

1. プレーヤーは「テニスウェア」を着用すること

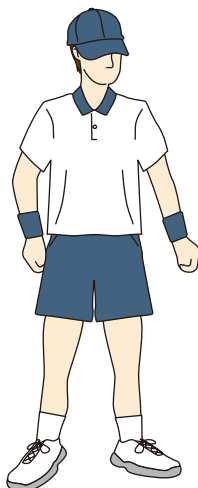
大会参加にあたっては、お互いに気持のよいゲームと、対戦相手を敬うことが大切です。
大会に参加するすべてのプレーヤーは、対戦相手や周囲に不快感をおよぼさないものを着用し、服装マナーを守りましょう。

2. テニスウェアとは

男子の場合：シャツとショーツ。 女子の場合：ワンピースまたはシャツと、スカートまたはショーツ。

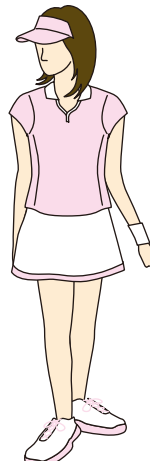
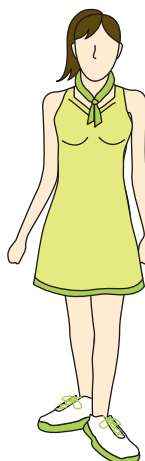
【男子の場合】

- ・シャツ
- ・ショーツ
- ・テニスシューズ



【女子の場合】

- ・シャツ
- ・スカート or ショーツ
- ・ワンピース
- ・首にバンダナを巻いてもOK!
- ・テニスシューズ



- ・襟なしでも着用できます。ただし、襟なしでもあくまでTシャツではなくてテニスウェアと判断されるものです。
- ・上衣はセーター、カーディガン、ベスト類を着て試合をすることができます。
- ・色の規制はありません。何色を着てもかまいません。

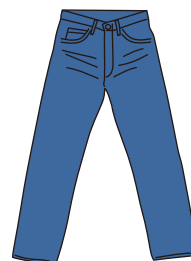
3. 着用できない服装

ウォームアップウェア、テニスのゲーム用ではないTシャツ、ランニングシャツ、フード付きのもの、ジーンズ、ランニングパンツ等の着用は認めません。

但し、低気温時、降雨時に限り、当日のレフェリーの判断でウォームアップウェアの着用を認める場合もあります。

【着用できない服装】

- ・ランニングシャツ
- ・ランニングパンツ
- ・テニス用でないTシャツ
- ・フード付きのもの
- ・ジーンズ



4. テニスシューズ

コート面をいためたり汚したりすることがないように、テニス専用シューズを履かなければなりません。

5. ロゴ、広告表示物について

シャツだけでなく帽子や靴下を含め、ロゴについては、大きさや数の制限があります。(JTAルールブック参照)
大きなロゴはもちろんいけませんし、たとえそれが小さくても多くのロゴを配置したウェアは着用できません。
また、そのロゴを隠すためにウェアを裏返したり、ガムテープ等でふさぐことも禁止です。

以上のように見ると細かいようですが、市販されてるテニスウェアなら大丈夫です。「どうかなあ?」と迷うようなウェアは、大会に着てこないのが無難です。